

- 1 実施日時 平成28年 8月 5日(金)
- 2 参加者 教育会員 11名 一般会員17名(うち小学生6名) 合計28名
- 3 実施内容 「上州真田領史跡探訪(岩櫃城址・中之条町・名胡桃城址)」

～勝頼様は来なかったけれど、史談会員様・教育会員様はぜひ来てください！～

大河ドラマ「真田丸」で話題になっている真田氏は、上田市や松代を中心とする信州を拠点としていましたが、それよりもずっと広い領地を上州(群馬県)に所有していました。昨年度は山梨県の武田勝頼の居城新府城をはじめとする山梨県内の武田氏ゆかりの史跡を探訪しました。今年度は真田信繁が武田勝頼を迎えようとした岩櫃城址をはじめとする上州の真田領を実際に訪ねて、見聞を広めるとともに、真田氏の領地支配や、真田氏の城址・戦国時代の戦い等についての理解を深めました。

4 当日実際の日程・見学地

- 6:30 諏訪教育会館集合・出発 (岡谷IC→姨捨SA→上田菅平ICを經由)
- 8:30 ◆ゆきむら夢工房(上田市真田町)真田氏ゆかりのお土産物等の購入
- 10:00 ◆道の駅ハツ場ふるさと館(長野原町)ハツ場ダム建設に伴い新設された道の駅
- 10:40 ◆岩櫃城址(東吾妻町) 見学・解説 信繁が少年時代をすごした、堅固な武田の三堅城
- 12:10 ◆やまと屋本店(東吾妻町) 昼食・休憩 岩櫃城の麓で上州の味覚を味わう
- 13:10 ◆中之条町歴史と民俗の博物館「ミュゼ」(中之条町)沼田真田氏の藩政資料を見学
- 15:15 ◆名胡桃城址(みなかみ町)戦国時代を終焉へと導いた舞台の城
- 16:30 関越道月夜野IC→藤岡JCT→横川SA→佐久南IC→長和町道の駅→新和田経由で諏訪へ)
- 19:50 諏訪教育会館到着・解散

5 研修の概要

① ゆきむら夢工房(上田市真田町)

上田市真田エリア(旧真田町)の観光拠点となっている「ゆきむら夢工房」で休憩するとともに、観光パンフレットやお土産等の購入をしました。

② 道の駅ハツ場ふるさと館

鳥居峠を越えて群馬県内へ。キャベツの出荷が続く孺恋村を抜けて、ハツ場ダムの建設が進行している「ハツ場ふるさと館」へ。道や道路はすっかり付け替えられ、道の駅ではダムの概要についても展示がありました。真田氏の領地の広さ、まだまだ長野原町までしか来ていないのです。先は長いです。

③ 岩櫃城址 見学・散策 (東吾妻町観光ボランティアの会の方による案内・解説)

岩櫃城は天険の山城であり、標高802メートルの岩櫃山全体を機能的に活かしており、甲斐の岩殿城・駿河の久能城と並び武田の三堅城と呼ばれています。のちに真田昌幸・信繁が徳川家康を恐れさせた、上田城や大坂城「真田丸」の原型といえる堅城です。

織田・徳川連合軍の甲州征伐で窮地に陥った武田勝頼に真田昌幸は「岩櫃への撤退」を進言したものの、結局勝頼は、譜代重臣の別の進言を受け入れて裏切りに遭い、滅亡の憂き目に



あいました。岩櫃城の築城年および築城主は不詳です。

1563(永禄 6)年、真田勢の攻勢により岩櫃城が落城し、真田信繁の祖父にあたる幸隆が吾妻郡守護代となります。平沢登山口の案内所でDVDを視聴した後、ボランティア2名の方の案内で、いよいよ岩櫃城址へと向かいます。

中城・二の丸跡で説明を受けます。本丸下に延びる長大な堅堀は幅も広く、往時が偲ばれます。木の間伐を行い、傾斜などもよりよく分かるようになったそうです。「これほど規模の大きい



山城とは…」参加者の中から、感嘆の声が漏れます。本丸までの急な坂を上ります。とても守りの堅い、堅固な山城だったことがわかりました。

④ やまと屋本店 昼食・休憩 岩櫃城のふもと、東吾妻町の名店で昼食(天井)をいただきました。

上州名物「焼きまんじゅう」は、近くの「火群庵(ほむらあん)」さんで購入し、好評でした。

⑤ 中之条町歴史と民俗の博物館「ミュゼ」

この博物館は、明治 18 年(1885)に吾妻第三小学校として開校し、その後、明治初期の洋風学校建築の数少ない建造物として、群馬県指定の重要文化財となりました。民芸・民俗・考古などの資料が網羅され、興味深く見学しました。

館長さんからは企画展「真田氏と戦国時代の吾妻」を中心に解説をしていただきました。武田氏の家臣として吾妻郡に進出した真田氏の吾妻郡における動向や、真田氏に仕えて活躍した忍者の活動などが紹介され、熱心に学ぶことができました。



⑥ 名胡桃城址(みなかみ町)

規模は小さいものの、この城を北条氏が攻略したことから、豊臣秀吉は小田原の北条氏攻めを決断。北条氏の滅亡、戦国時代の終焉といったきっかけを作った、歴史上大変重要な城です。発掘・整備が進んだ城址跡や、眼下に広がる光景を、みなかみ町歴史ガイドの会の2名の方に、分かりやすく解説していただきました。

6 反省等 (1) 参加者の声

- * 学んだことを、教育現場でも生かして生徒たちに伝えていきたい。
- * 夏休みの調べ学習に役立てられそうでよかった。 * 実際に壮大な山城の様子を学べてよかった。
- * 真田氏の活躍、広大な領地の様子をガイドの方々の親切な解説でより深く知ることができた。

(2) 成果と課題

- * 一般の方の参加が増えて大変よかった。昨年度参加された会員の方から、他の方の紹介もあり、今回は新聞告知を行わなくても、定員いっぱい参加者を確保することができた。

* 今後も、教育会会員・一般会員の方ともにより多くの方に参加できる日時・日程を検討していきたい。

文責 諏訪史談会事務局 相良 誠(下諏訪南小学校)